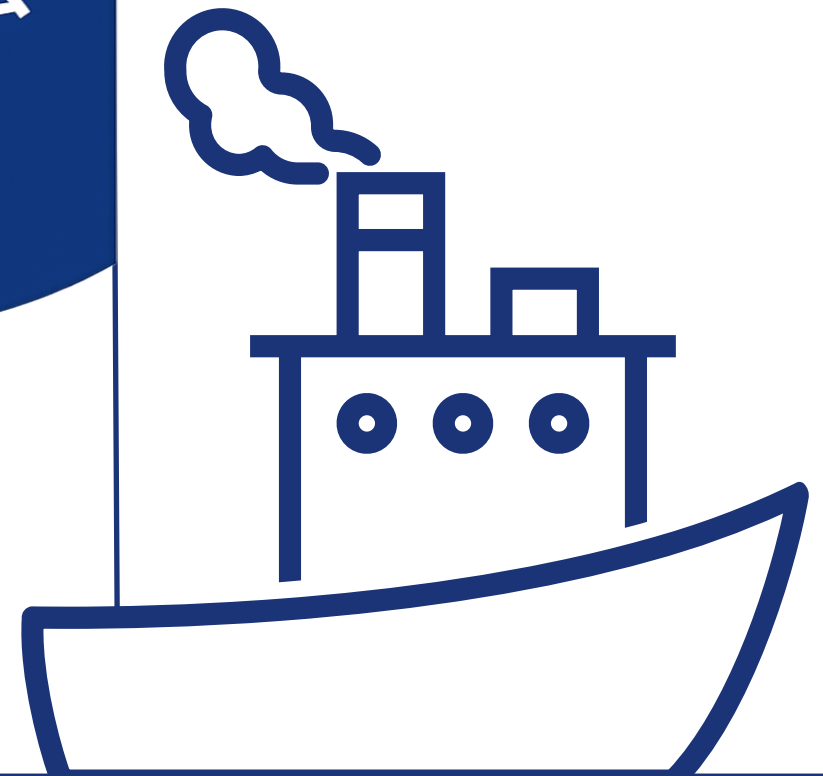


東京湾水先区水先人会

会の説明・採用案内資料



“公益性の高い業務をしたい”

同時に

“ワークライフバランス”を大切にしたい

という人には最高の環境だと思います。

目次

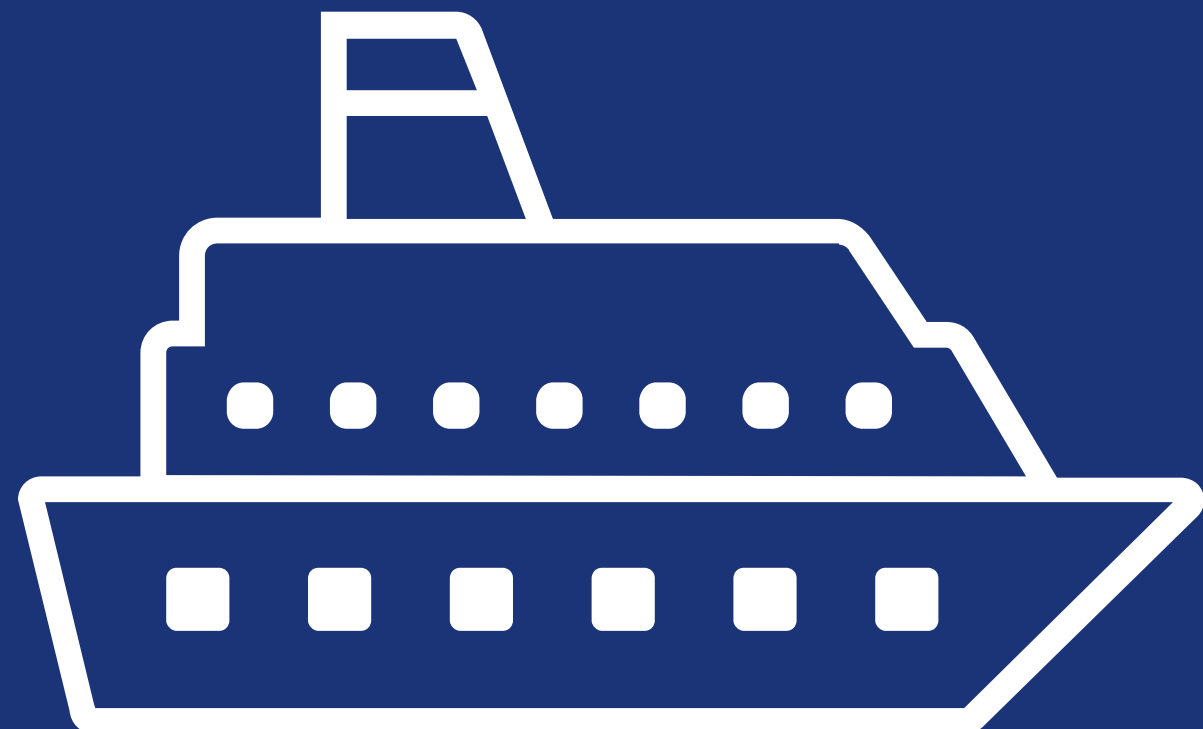
1	会の概要	4
2	組織紹介	10
3	働く環境	45
4	採用情報について	53



1 会の概要



- 1 基本情報
- 2 東京湾とは？
- 3 水先人とは？
- 4 会の役割とは？
- 5 沿革



基本情報

名称	東京湾水先区水先人会
組織	特別法人 (注1)
所在地	横浜市中区山下町1番2パイロットビル
会長	黒田 富治
設立	1906年(明治39年)
水先人数	147人(2025年3月1日現在)
職員数	39名(2025年4月現在)

(注1)特別の法律に基づいて設立された法人です。会計処理は公益法人会計基準に準ずるが法人形態としては特別法人です。

東京湾

日本の三大港湾(東京湾、伊勢湾、大阪湾)の一つ。
全国の約1／4にあたる人口の経済・社会活動を支え、
日本を代表する広域物流拠点となっている。

湾内には大型船の出入りする港が6港ある。

年間約20万隻の各種船舶（コンテナ船、自動車専用船、ばら積船、VLCC、VLOC、LNG専用船、客船、練習船、軍艦等）が入出港しており、水域ごとに水先人の乗船を義務付ける強制水先区として設定されている。

水先人とは？

複雑な水域や船舶交通の激しい交通の場（水先区）にて
安全かつ速やかに入出港させる**スペシャリスト**



沿岸線は非常に複雑で、各港にはそれぞれ独特の地形、海潮流等があり、特に外国船の船長にとっては極めて船の操縦が困難な水域となっている。

そのために**船長の補佐役**として、
その水域に精通し熟練した操船技量と高度な知識を有する水先人が船舶に乗り込んで安全かつ迅速に目的地まで嚮導を行う。

国家試験を合格し、水先人の免許を取得しなければ、水先業務を行えない。
1級から3級までの等級別の免許となっている。

会の役割とは？

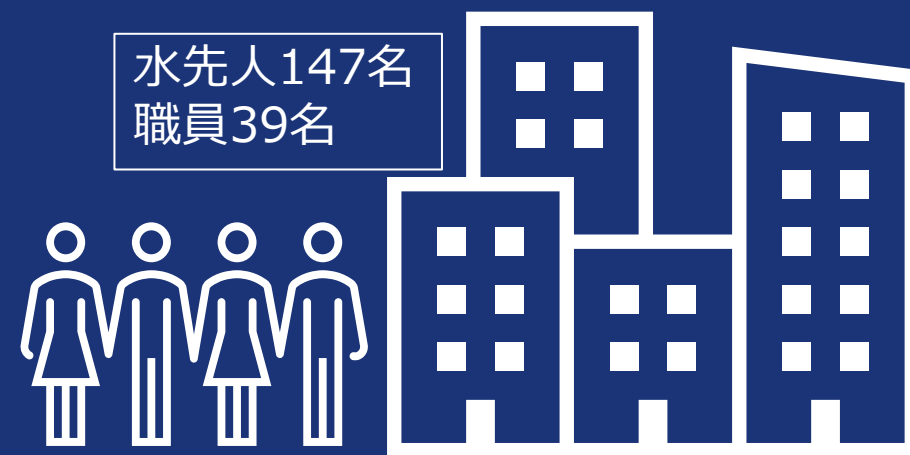
当会は、水先法に基づく法人として設立され、
日本最大の147名の水先人が所属している。

水先人が昼夜を問わず円滑な嚮導業務^{きょうどう}を遂行できるよう、職員全員が一丸となり、水先要請の引き受け、水先人配乗、料金請求、各種情報管理、公官庁との折衷、マニュアル整備などを行っている。

当会の役割

『水先人の業務支援』

水先人147名
職員39名

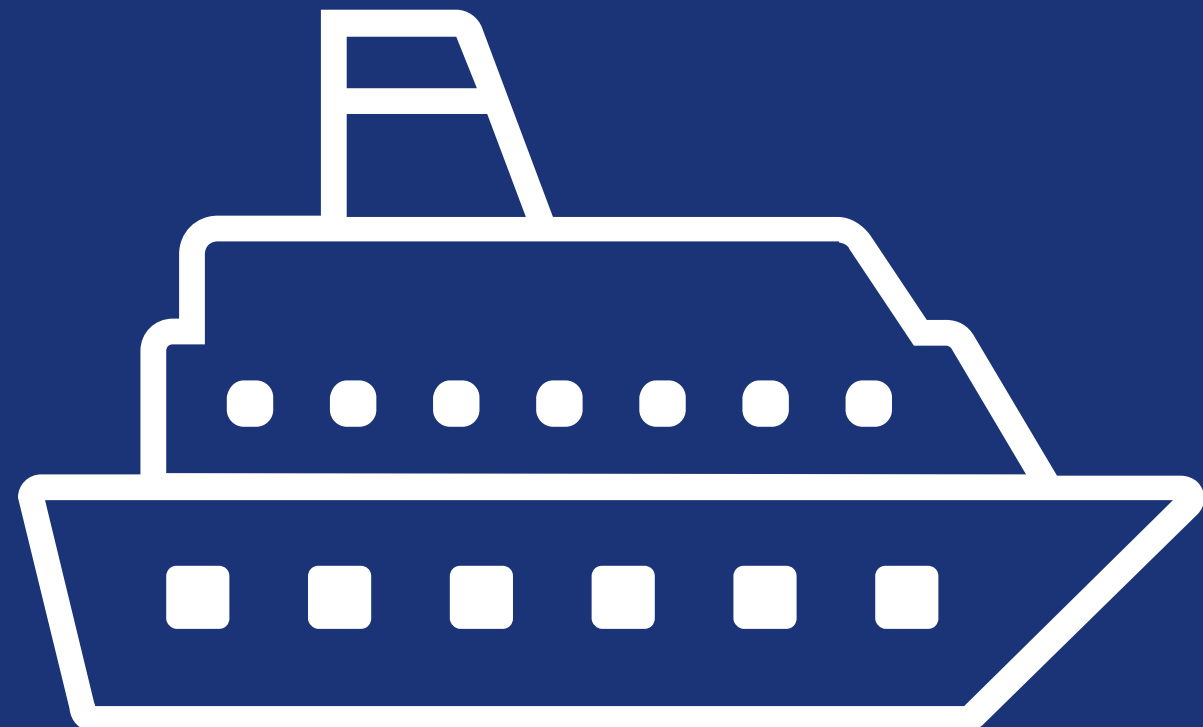




会の沿革 HISTORY

- 1900年 ● 水先法公布（法律第63号）
- 1906年 ● 東京湾水先人組合 創設（旧東京湾水先区水先人会の前身創立）
- 1923年 ● 東京港水先人組合 創設（旧東京水先区水先人会の前身創立）
- 1947年 ● GHQにより横浜(1,500トン以上)、東京(1,000トン以上)に強制水先
- 1961年 ● 横須賀水先人組合 創設（旧横須賀水先区水先人会の前身創立）
- 1977年 ● 東京湾区に強制水先制度施行。総トン数1万トン以上の船舶は基本的に強制水先の対象となる。
- 1979年 ● 千葉港、木更津港において、1万総トン以上の船舶が強制水先の対象となる。
- 2007年 ● 改正水先法（2006年法律第38号）により、東京湾水先区水先人会、東京水先区水先人会及び横須賀水先区水先人会が統合され、水先法上の法人として 新制 東京湾水先区水先人会創立。統合本部事務所を横浜市中区のシルクセンター内に開設
- 2011年 ● 新制度により三級水先人が誕生。7名が入会
- 2012年 ● 本部事務所をシルクセンターからパイロットビル（横浜市中区山下町1番2）に移転
- 2015年 ● 横浜川崎区のうち横浜港部分における強制水先対象船舶が、危険物積載船を除き、総トン数3千トン以上から1万トン以上に緩和。
- 2016年 ● 会報“ANJIN”創刊（季刊）→ 現在休刊中

2 組織紹介



- 1 ビジョン・バリュー
- 2 メッセージ
- 3 組織について
- 4 部門概要

ビジョン

『信頼され、未来へ続く誇りある水先人会に』

バリュー（大切にしている価値観）



安全第一

水先人を支え安全を守ることが
私たちの最大の使命です



チームワーク

専門知識を深め
共に成長することを大切にします



学びと成長

水先人・職員・関係者が
一体となって力を発揮します



誇りとやりがい

海の安全を守ることが
誇りある社会的役割です

局長メッセージ

押本耕市郎 Koichiro Oshimoto



仲間とともに、“ミライ”の“ミナト”を守る

こんにちは！

水先会の採用ページをご覧いただきありがとうございます。

私たち水先会は、水先法に基づき設立された特別法人です。

船が安全に港へ出入りできるよう水先人をサポートし、縁の下から支える——それが私たちの使命。

派手さはありませんが、日本の物流や人々の生活を守る欠かせない役割を担っています。

本会はこのような安定した基盤のもとで永く安心して働ける環境が整っています。

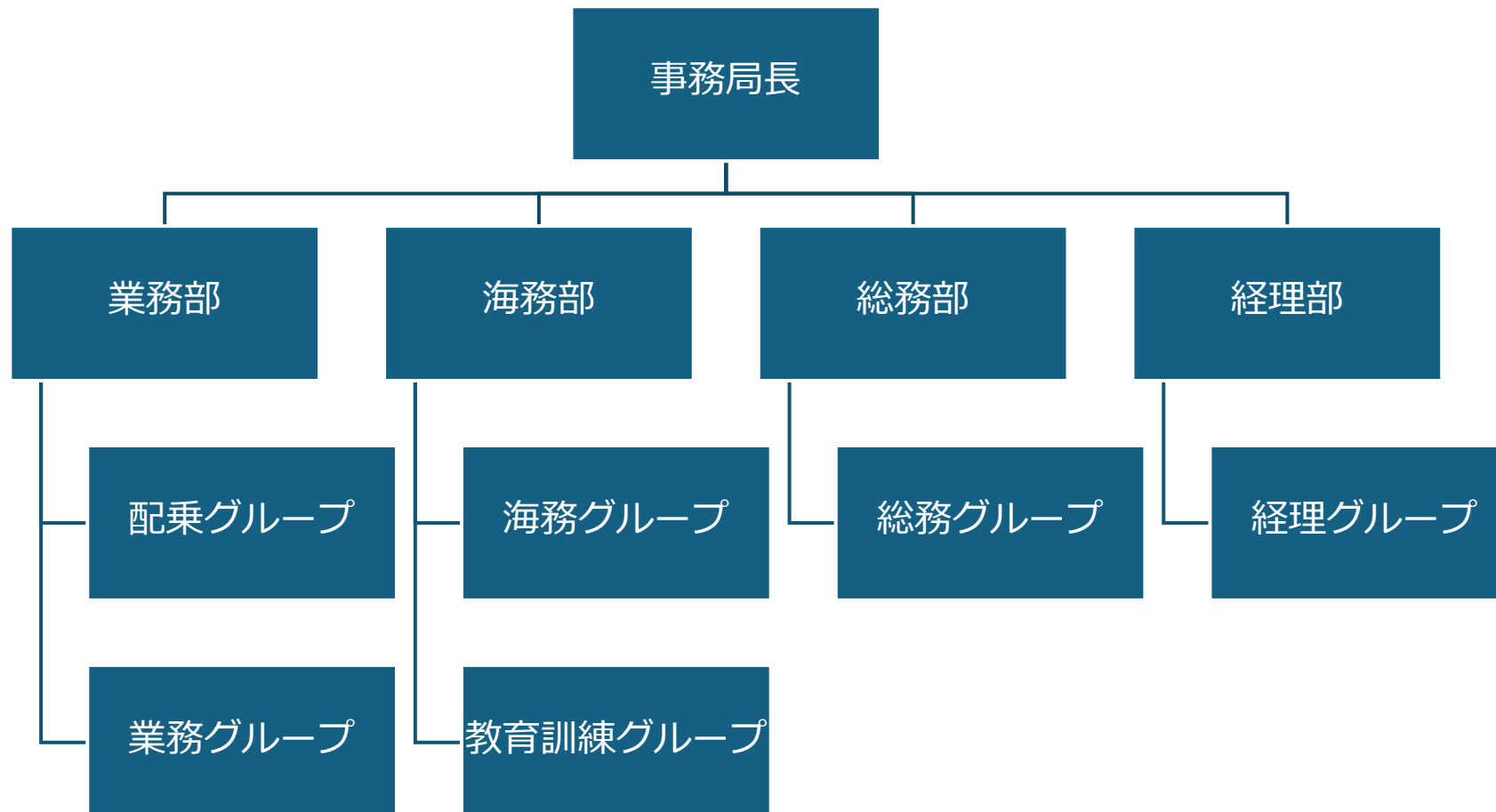
一方で、伝統ある組織ゆえ、変化への対応が難しく、まだまだ改善できる部分もたくさんあります。

だからこそ私たちは、新しい発想やフレッシュな力を持つ若い仲間を必要としています。

「海の安全を守る」という誇りある仕事を、一緒に未来へつないでいきませんか？
皆さんの一歩が、次の世代の海を守る大きな力になります。

組織図

4部門6グループによって構成されています



メンバー構成と平均年齢

総務部4名
経理部3名
業務部27名
海務部4名

合計39名

全体の平均年齢約42歳（男性：40歳/女性：48歳）

年齢階層

20代9名（男性6名/女性3名）

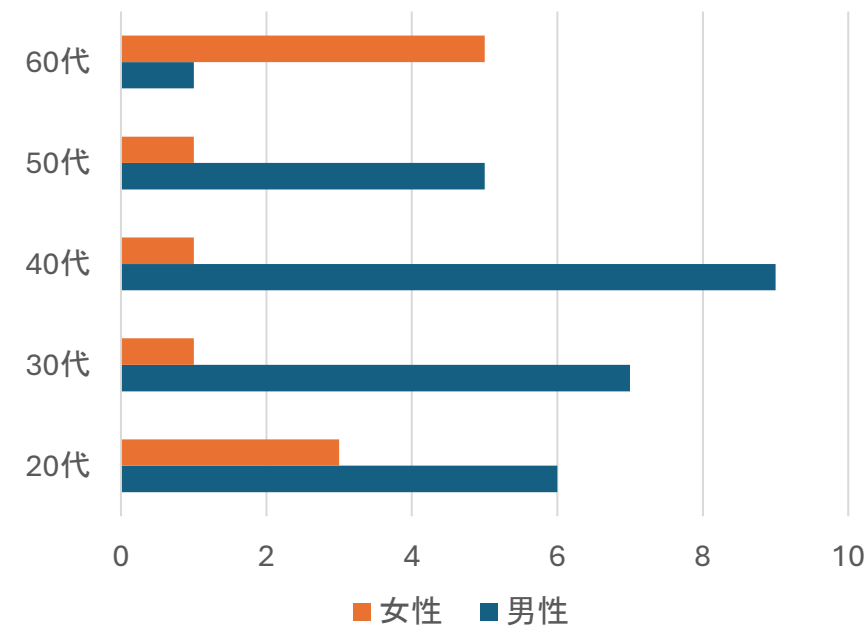
30代8名（男性7名/女性1名）

40代10名（男性9名/女性1名）

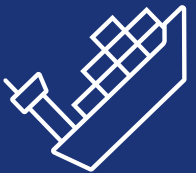
50代6名（男性5名/女性1名）

60代6名（男性1名/女性5名）

年齢別構成図



部門概要





総務部の仕事

総務部

目立たないけど、会全体に関わることができる部署

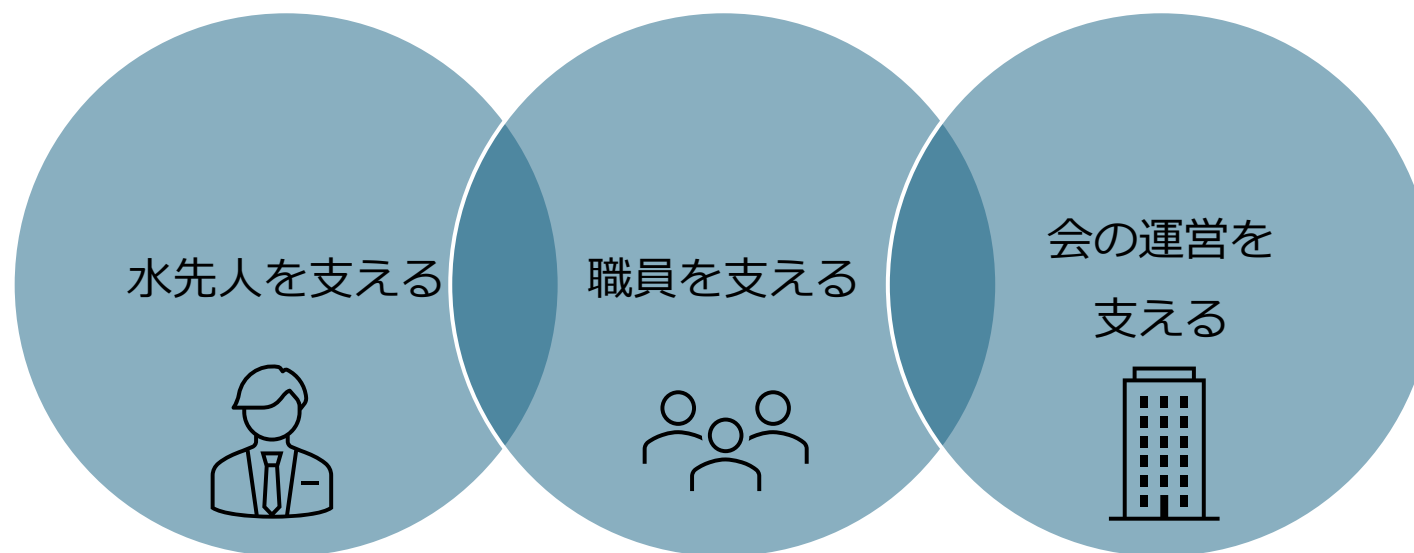
- 1 総務部について
- 2 業務内容
- 3 スケジュール例



総務部について

「総務部は何をしているの？」

現在、総務部は4名の職員で業務を行っています。
総務部の仕事は小さなことから会の運営にかかわることまで多岐にわたります。
総務部の仕事を大きく分けると下記の3つに分類されます。



業務内容

詳しい業務内容は下記の通りです。

水先人を支える

- ・水先免状管理
- ・税関関係申請
- ・水先人健康診断事務
- ・水先人栄典事務
- ・水先法に関わる申請手続き
- ・水先人旅費精算



職員を支える

- ・職員労務管理
- ・職員給与事務
- ・人事制度の運用・更新
- ・職員採用事務
- ・職員健康診断事務



会の運営を支える

- ・総会、定例会などの各種会議の準備
- ・役員秘書業務
- ・海務文書配信、広報
- ・会則・その他規則管理
- ・事務所ビル管理、備品管理
- ・ホームページ管理
- ・外部との連絡調整

総務部の魅力とやりがい

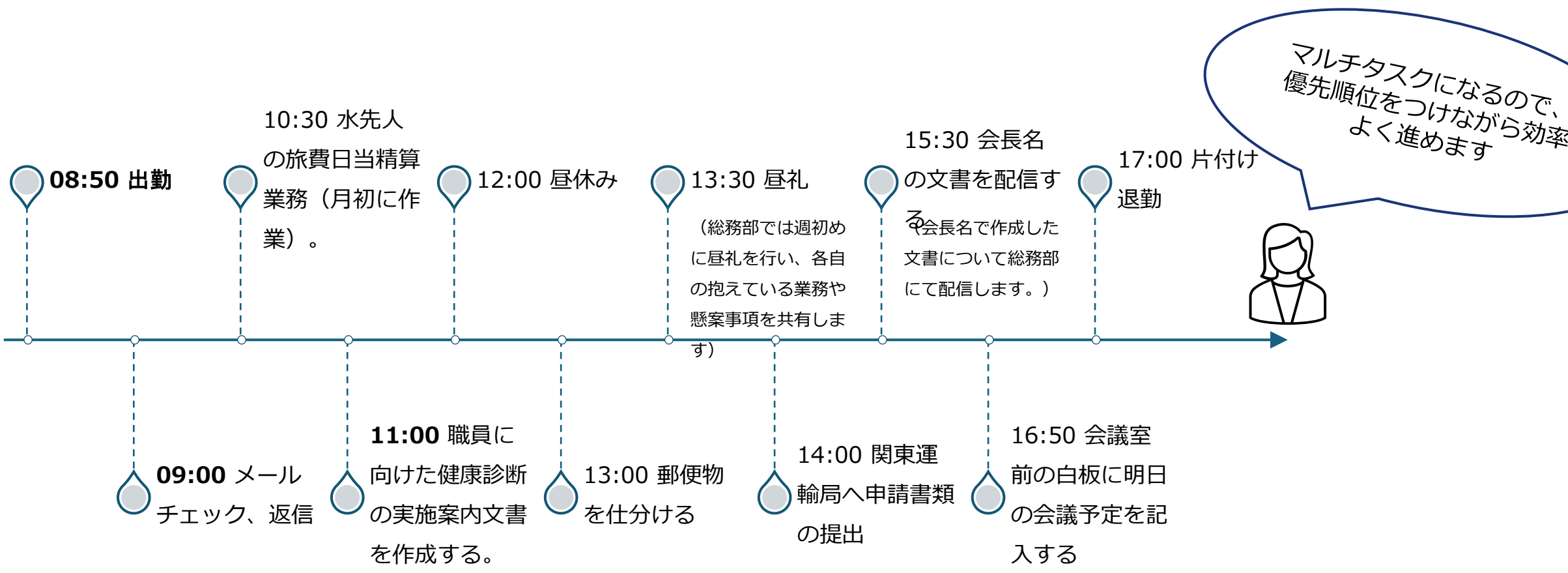
- ・ 魅力

水先人会をより働きやすい環境にするための
制度作りに関わることができる

- ・ やりがい

幅広い業務に携わり、水先人会全体に関わることができる

とある主任の一日のスケジュール





経理部

経理部の仕事

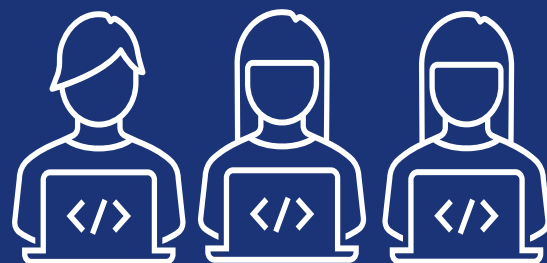
- 1 経理部について
- 2 業務内容
- 3 スケジュール例



経理部について

現在、経理部は3名の職員で業務を行っています。

一般的な経理事務の他、**水先料金**や**会費**に関する水先人会ならではの業務もあります。



水先料金

水先作業後、水先料金の請求・収受は業務部が行っています。

経理部では、業務部で請求・収受された水先料金を月末締め処理後、各水先人へ通知し送金を行っています。

会費

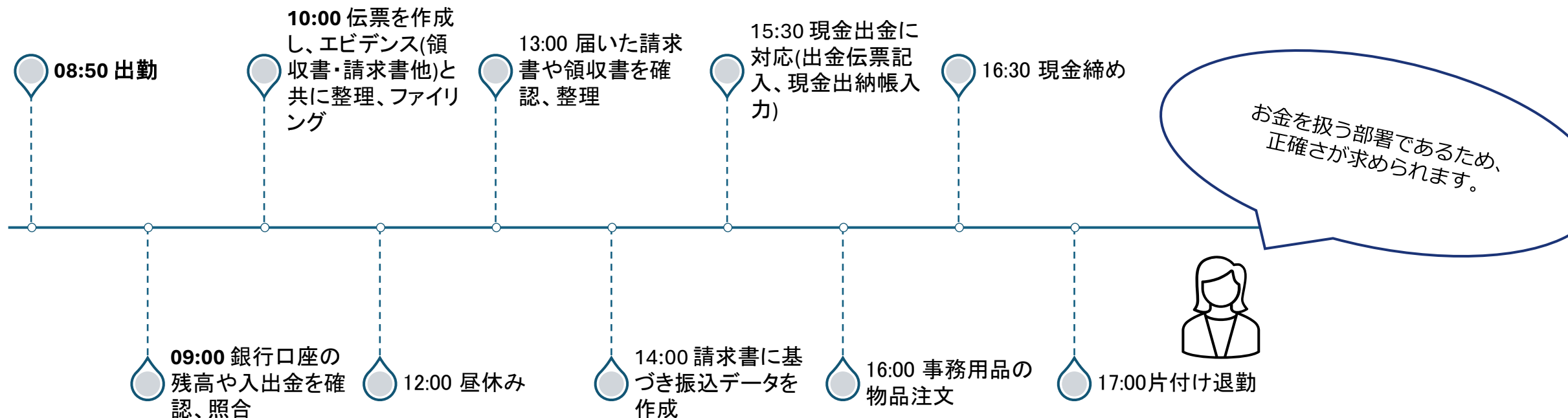
水先人会は、個々の水先人から支払われる「会費」によって運営されています。

経理部では、各水先人の「会費」算定、通知及び収納の業務を行っています。

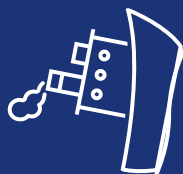
主な業務

日	日々の経理事務 伝票の起票、取引先への各種振込、会計帳簿の作成、現預金の入出金管理など
1回/月	水先人の「会費」の算定、その通知及び収納 会則に従い算定を行い、算定結果を各水先人に通知し収納
1回/月	水先料金の振込、その通知 業務部で回収された水先料を月末締め処理後、各水先人に通知し送金
5回/年	財務委員会への対応事務 四半期の財務諸表の動きを財務委員会に報告
4回/年	会計監査 監査法人による会計監査を年3回（延べ4日間）受け、最終監査後に監査報告書を受け取る
1回/年	決算作業 年度末をもって、会計処理を閉鎖し、正しく作業されているか確認後、決算書類を作成し、監査を受ける
1回/年	収支報告書の数値集計、国交省への提出 水先人の収支を集計して報告書にまとめ、国交省指定のフォームに合わせて作成し提出
1回/年	予算策定作業 1年間の支払い予定額に基づき来年度の会費を算出

とある係員の一日のスケジュール



数字を通して水先人会全体の業務に携わることができるやりがいのある仕事です。



業務部の仕事

業務部

- ① 業務グループについて
- ② 配乗グループについて

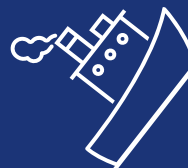


業務部

業務グループ

～水先要請から水先料金まで～

- ① 業務グループについて
- ② 水先要請から水先料金請求まで
- ③ 一日のスケジュール例
- ④ 業務グループで働くにあたり



業務部業務グループについて



現在 5 名にて業務を行っています。

業務は概ね、『**水先要請（受付）業務**』『**水先料金請求業務**』に分かれます。

水先料金請求業務

- 水先料請求、収受に関する事務及び管理
- DAILY請求業務、各バウチャー整理
- 水先料計算、システム登録
- 月末締め処理
- 通船・脚船関係業務
- 見積作成

水先引受（受付）業務

- 水先の引受けに関する業務（受付業務）
- 水先人指名に関する申請受付に関する事務
- 代理店からの問い合わせ対応
- 本船情報登録
- 配乗業務の補佐
- 水先人の休暇申請の受付
- AIS航跡図の作成など

その他

- ISO関係事務
- 業務委員会関係事務
- 水先業務管理支援システム維持・管理
- 防災備品の管理
- 消耗品、備品管理、物品購入 他
- 業務用施設に関する事務

水先要請から請求までの流れ



①船主、船社より依頼を受けた、代理店から水先要請を受付。

②配乗グループによる配乗。

③水先人による嚮導。

その際に、船長のサインなどが記された水先証明書（バウチャー）を取得。

④水先証明書を元に請求書を作成し、代理店へ請求。

1日の主なスケジュール

《 受付業務 》

木更津港湾管理のデータと突合せ
オーダーチェック
本船登録 etc.

～お昼休憩～

木更津港湾管理のデータと突合せ
東京海上交通センターのデータと突合せ
翌日の大口割引・指名対象船 処理
オーダーチェック
本船登録 etc.

受付業務は基本的に
ルーティンワークです。



8:50頃
出社

09:00

12:00

17:00

ほぼ残業なしで
帰宅できます

《 水先料金請求業務 》

前日の全作業（Daily Movement）チェック
通船関係 処理
バウチャー整理、処理
見積発行など

～お昼休憩～

バウチャー整理、処理
水先料金計算、システム登録
請求書 発行
請求書 郵送
見積発行など

様々な業務を毎日
ローテーションで行って
います。



業務部業務グループで働くにあたって・・・

水先料金 請求業務

- 水先人の収入に直結し、その先には自分たちの給料にも関わってくる業務です。
- ダブルチェック、トリプルチェックを行うなど、ミスが無いよう丁寧な仕事を心がけています。

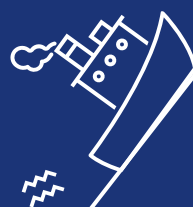
水先要請 (受付)業務

- 翌日の配乗業務に支障をきたさないよう、なるべくスピーディーな業務を心がけています。
- また、代理店などからの様々な問い合わせに対応できるよう、幅広い知識を身に付けられるよう心がけています。

《《 そして、間接的に日本の生活に重要な海運にかかわり、
日本の生活を支える仕事ができることがやりがいであり魅力です！ 《《

業務部

配乗グループ



水先人の乗船から下船まで手配します。

- ① 配乗グループについて
- ② 業務内容
- ③ 乗下船と水先艇・曳船
- ④ スケジュール例
- ⑤ 大変な点とやりがい

業務部配乗グループについて

現在21名にて業務を行っています。
配乗グループ長が1名と**港内グループ**・**航行グループ**に分かれています。

配乗グループ長

配乗業務全般の管理・補佐
各委員会・関係先打合せ対応など

港内グループ

- 横浜・川崎
東京・千葉・
木更津・横須賀
各港区での離着岸、
転錨(錨地間の移動)
作業等

航行グループ

- 入湾：東京湾入口
(浦賀)から各港区まで
- 港区から別港区への
移動
- 出湾：各港区から
東京湾入口(浦賀)まで

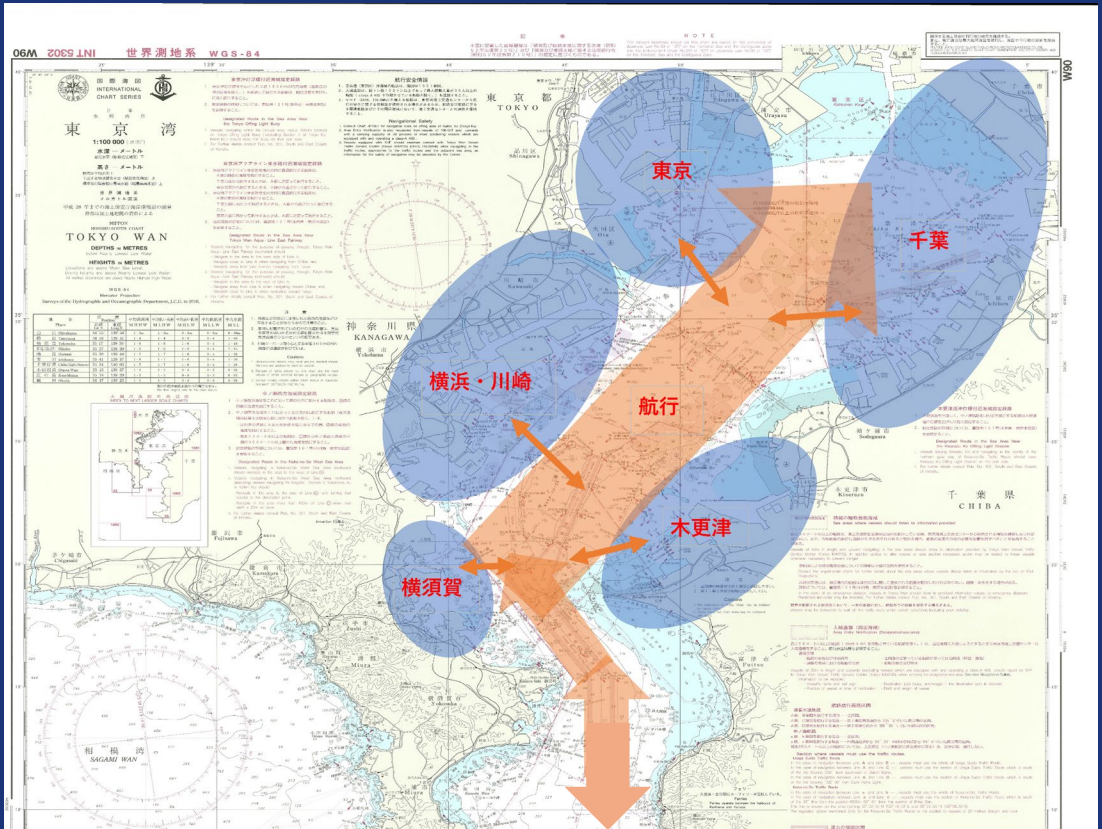
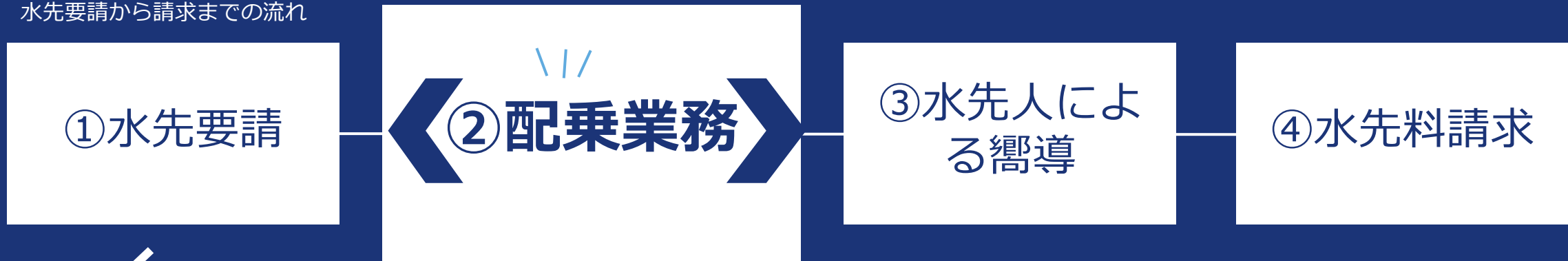


fig:港内・航行それぞれの業務範囲(海上保安庁刊行海図W90参照)

配乗グループ 業務内容

水先要請から請求までの流れ



『**配乗**』とは、各水先人に対する作業の割り振りのこと！

水先法では、水先免許に応じて業務の範囲が設定されている。
東京湾水先区では安全対策の為、さらに制限（船のサイズ、危険物の積載有無等、各水先人の個別・業務制限）を設け、それに従って配乗を行います。

- ・送迎に関して関係各社と調整業務
- ・水先業務の遂行状況を現場と確認（無線や電話）
- ・時間変更に対する対応や荒天・トラブル（事故発生等）の対応業務



これらの業務は
随時対応しています！

水先人が滞りなく業務を行えるよう日々**支援業務**を行っています！！

水先人乗船から下船までの流れ

水先人



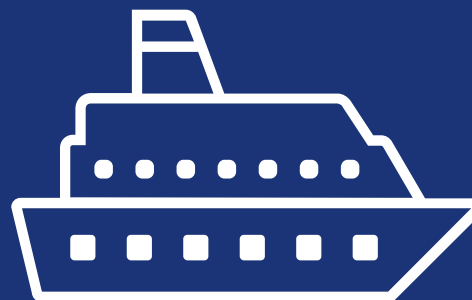
移動



配乗された予定に則り
水先人は嚮導作業を行います。

嚮導作業

乗船



下船

移動



作業終了 or 次の作業へ

目的の船に乗下船するのにあたり使用
される水先艇や曳船、湾口艇などの
手配も行います。

水先人は連続して作業を行うこともあるため、
作業の終了時間や移動時間も加味して配乗業務を行います。

しかし、当日の気象海象状況や船の遅延などに伴い予定通りいかないことも多々…
都度調整変更を行います！

水先人送迎の為の水先艇と曳船について



fig:新協和海運株式会社所属水先艇

水先艇(みずさきてい)
水先人の送迎に用いるボート



Fig:タグボート多摩丸(出典:東京汽船株式会社)

曳船(タグボート)
大型船舶の入出港作業の補助を行うボート
水先人の送迎にも使用される。
船のサイズ等などの諸条件によって
必要な隻数が設定されている。

1日の主なスケジュール

《 日勤者 》

07:00 港内早出出勤
08:30 航行早出出勤
09:30 港内・航行日勤者出勤

水先人の配乗業務(送迎についての調整等)
水先業務の遂行状況の確認(無線や電話にて)
時間変更・荒天やトラブル(事故発生等)対応
翌日オーダー精査

12:00 翌日オーダー締め切り

翌日の港内及び航行のオーダー整合性
の確認(向け地の確認等)

15:00 港内早出退勤
16:30 航行早出退勤

17:00 翌日の配乗完了・水先人に作業連絡

17:30 港内・航行日勤者退勤

《 当直者 》

14:00 当直者出勤

日勤者からの引継ぎ
翌日オーダー及び配乗精査
夜間・早朝作業の水先人の送迎及び
宿泊場所の手配

17:00 翌日午前中の水先人への作業連絡

翌日オーダー内容精査(確認漏れがないか)
資料整理

- ・翌々日の当直水先人の公務や休暇予定
- ・東京湾内での工事等関係書類の確認

00:00 - 08:00 当直者同士交代での仮眠(各4時間)

07:00/08:30 港内/航行早出出勤者への引継ぎ

09:30 退勤

トラブルなく終えた時
にはホッとします



配乗グループの大変な点/やりがい

翌日の予定は前日には出揃います。

翌日就業する水先人の配乗を行いますが、全てが予定通りにはいきません。

船の荷役の進捗状況や悪天候に伴い、船の予定も大きく変化します。当然、水先人の予定も状況により大きく変化させていかなければなりません。

配乗グループでの仕事は、24時間365日、関係各所と細かい調整を行い、船舶の安全運航を間接的に支えます。日々行う業務は同じであっても『**刻々と変化する状況に臨機応変対応する力**』が求められます。

共に働くメンバーたちと常にコミュニケーションを取りながら、調整業務や水先人の配乗を行うので、無事に業務が終えた時には、達成感を分かち合うことができます。

同時に自らの業務が**日本の経済を支える水先システムの一端を担っている**というやりがいと誇りを感じます。



海務部

海務部の仕事

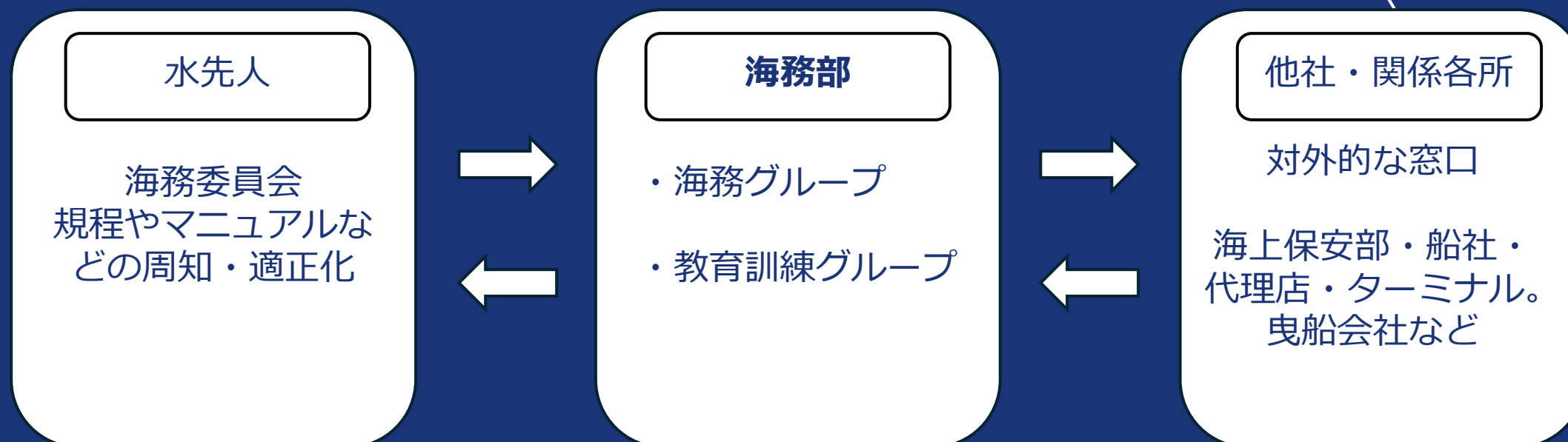
- ① 海務部とは
- ② 業務内容（海務グループ）
- ③ 業務内容（教育訓練グループ）



海務部とは

海務部は現在4名で業務を行っています。
水先人の活動を陸から縁の下の力持ちとして支える専門チームです。

「**海務グループ**」と「**教育訓練グループ**」の2つのグループで構成されており、それぞれの役割を担いながら、現場の安全と効率を支えています。



海務グループ

～水先業務の運用を支える、情報と外部連携のスペシャリスト～

海務グループでは、水先業務に関するマニュアルや資料の管理、官公庁やユーザーを含める関係者へ対応・渉外事務、水先人の作業データ等の業務管理、通信機器（トランシーバーなど）の管理、ライフジャケットの点検などを担当します。

各部署と連携しながら、水先の現場が安全かつスムーズに機能するように支援しています。

対外対応

官公庁やユーザー
含め関係者への
対応・渉外事務

データ・機器管理

水先業務マニュアル・資料

作業データ

通信機器(トランシーバー)

安全装備(ライフジャケット)

教育訓練グループ

～水先技術向上と水先人育成をサポートするスペシャリスト～

教育訓練グループでは、水先人のステップに応じた研修会の企画や準備、スキルアップを目的とした教育訓練プログラムの運営を行っています。

また、操船シミュレーターの管理や、水先教育に関わる関係機関との連携、これから水先人を目指す方のサポートなども担当します。



サポート

- ・ 新たに入会する水先人
- ・ ステップアップする水先人

免許等級に応じた
研修会の企画準備

訓練機器の管理
(操船シミュレーター)

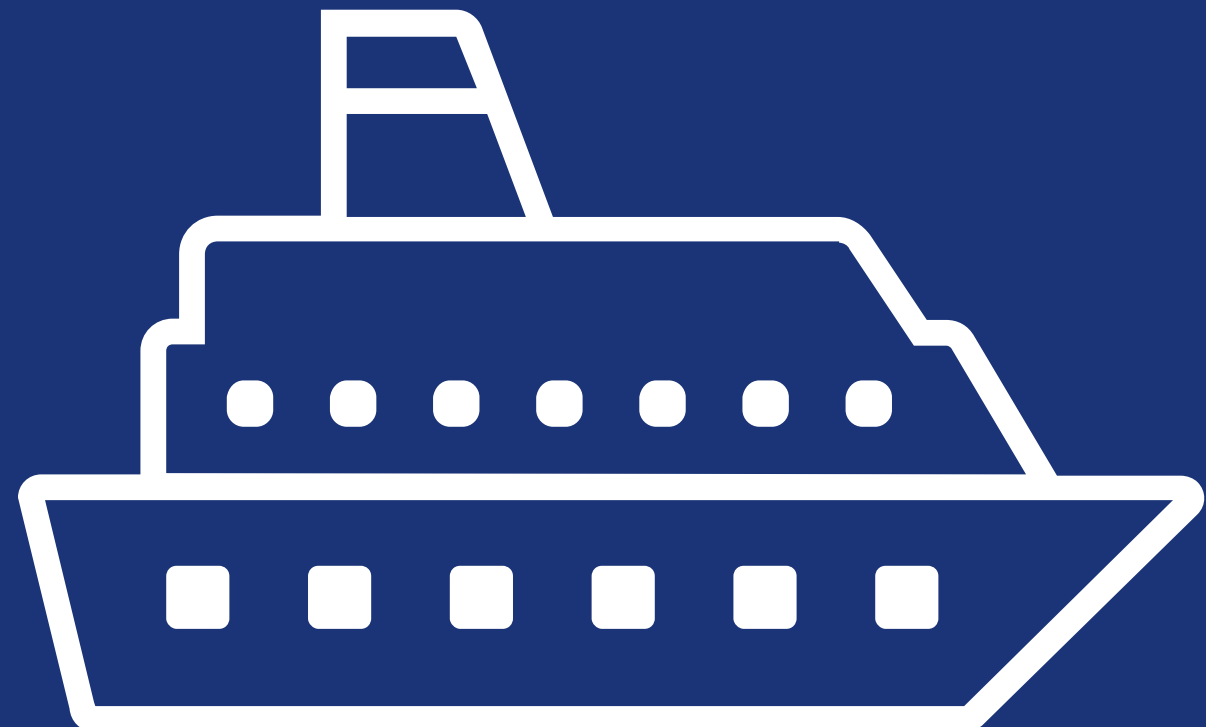
教育訓練
プログラムの運営

水先教育にかかわる
関係機関との連携

東京湾水先区水先人会での仕事は、
どの部署に属していても「水先人の業務支援」
が業務の根幹です。

それぞれの役割は違いますが、水先人を支援し
日本の経済に寄与します。

3 働く環境

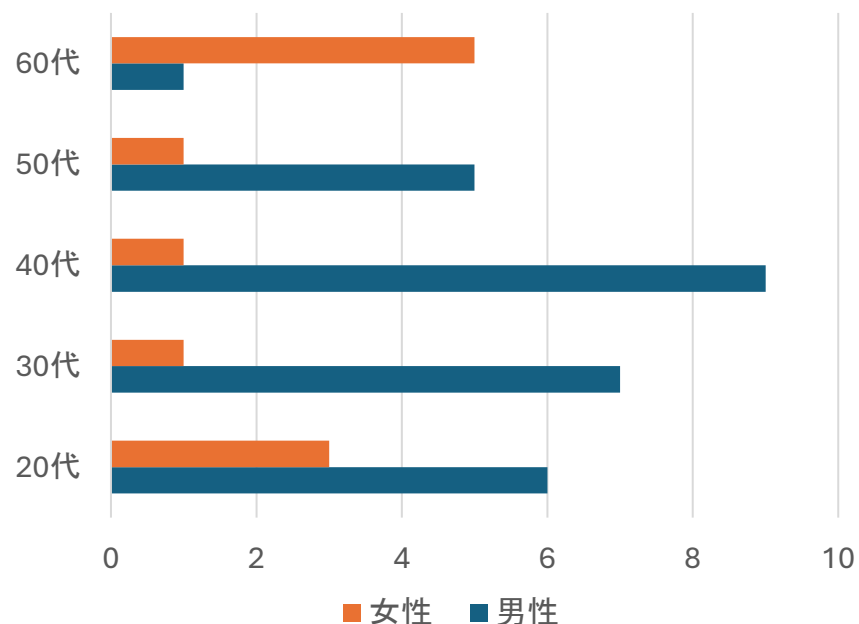


- 1 社風や文化
- 2 働き方について
- 3 給与について
- 4 共に働く仲間たち

会の雰囲気や文化

図のように、当会はベテランの職員が多数在籍しています。
安定した団体職員だからこそ定年まで働ける職場になっています。

年齢別構成図



職員同士の親睦を深める『東親会』という組織もあり、定期的な懇親会も開催されています。
幅広い世代の職員が集まる組織であり、懇親会などの場を通じて交流の機会があります。

オフィスの雰囲気

本部5階の様子



柔軟で働きやすい就業体制

基本的には、09:00～17:00
拘束時間が8時間（**実働7時間**）と短いところがポイント。
時差出勤制度もあり、自身のライフスタイルに合わせた調整が可能。
配乗グループでは、当直勤務ありのシフト制になっており、平日に休めるというメリットもある。

長く働ける環境

異動による転勤がないこともポイント。
水先人会本部にて勤務できるので、自身のライフ設計が建てやすく、定年まで働けます。

数字で見る働きやすさ

有休取得率	80%
平均残業時間	約1時間/月
育休・産休取得率	
ー育児休業：2023年度	66%（男性66%, 女性該当無）
2024年度	該当無し
ー育児休暇：2023年度	59%（男性46%, 女性100%）
2024年度	88%（男性84%, 女性100%）

勤務形態・勤務時間

『配乗グループ以外の日勤者』
勤務時間 0900～1700
カレンダー通りの休み

『配乗グループの勤務時間について』
1日目 0930～1730
2日目 0700～1500 / 0830～1630
3日目 1400～2400
4日目 0000～0930
5日目 休み
6日目 休み
7日目以降は1日目からのローテーションを繰り返します。

24時間365日勤務体制がとられており、継続的な配乗業務を行っています。
カレンダー通りの休みではないので、**平日休みの恩恵**を享受することができます。
長期休暇を取得し、閑散期での海外旅行や混雑を避けた外出などたくさんあります！

とある職員の一例

月	火	水	木	金	土	日
M	C	当直	明け	休み	休み	M
C	当直	明け	休み	休み	有休	C

M 0930～1730
C 0700～1500
当直 1400～翌0930

有休も使って**連休**をつくることも可能です！

給与について

22歳専門学校卒：基本給203,500円+その他手当

大卒：基本給214,500円+その他手当

25歳高等学校卒：基本給211,300円+その他手当

大卒：基本給226,500円+その他手当

【各種手当】

交通費（規定内で全額支給）・時間外手当（全額支給）・役職手当

出張手当・当直手当・扶養手当（月1万5000円）・住宅手当（月5000円）

食事手当（日勤：700円 当直：2000円）

一回の勤務ごとに700円の食事手当がでます。

物価高、上がるランチ費用を直接サポートしてくれます。

職場の近辺は、昼食代も高いことも…。そんな中実費でもらえるので、大変ありがたいです。

昇給・昇格

採用後は
ここから始まる



係員



主任

係長



課長



次長

部長・局長

基本給は号俸（基本給表）に基づいて決まります。
年齢・経験・業務実績を
総合的に判断し、昇格されます。

賞与の支給額は、
年度ごとの業績や職員の評価にて変化します。

2023年度

夏季賞与：2.25カ月

冬季賞与：2.29カ月

2024年度

夏季賞与：2.3カ月

冬季賞与：2.29カ月

2025年度

夏季賞与：2.3カ月

賞与もしっかりとでています！

共に働く仲間たち

水先人会で働く職員にインタビューしてみました。



職員 Tさん
2025年入職 業務部 配乗グループ

Q.1 前職

信用金庫 総合職

Q.2 会の入職理由や、仕事の面白いところ、記憶に残っている出来事など教えてください

当会に入会を決めた大きな理由として、「非営利団体で利益を目的としない仕事であること」と「東京湾を通して社会貢献をしたい」という二点があります。前職の信用金庫も非営利団体であり、社会に寄与したいという思いから志望しており、転職するにあたって「社会の為になる仕事であるのか」ということは最優先事項でした。（この会の名前を聞いただけでは仕事内容の想像が全くつかず、その点も非常に興味を誘われた部分でした。）輸出入の大半を占める船舶貿易を支え、都市部に面した東京湾で仕事をするのはとても社会にとって意義のある仕事だと思います。その分責任感も伴いますがやりがいのある仕事だと思います。



職員 Hさん
2022年入職 総務部

Q.1 前職

物流系 労務

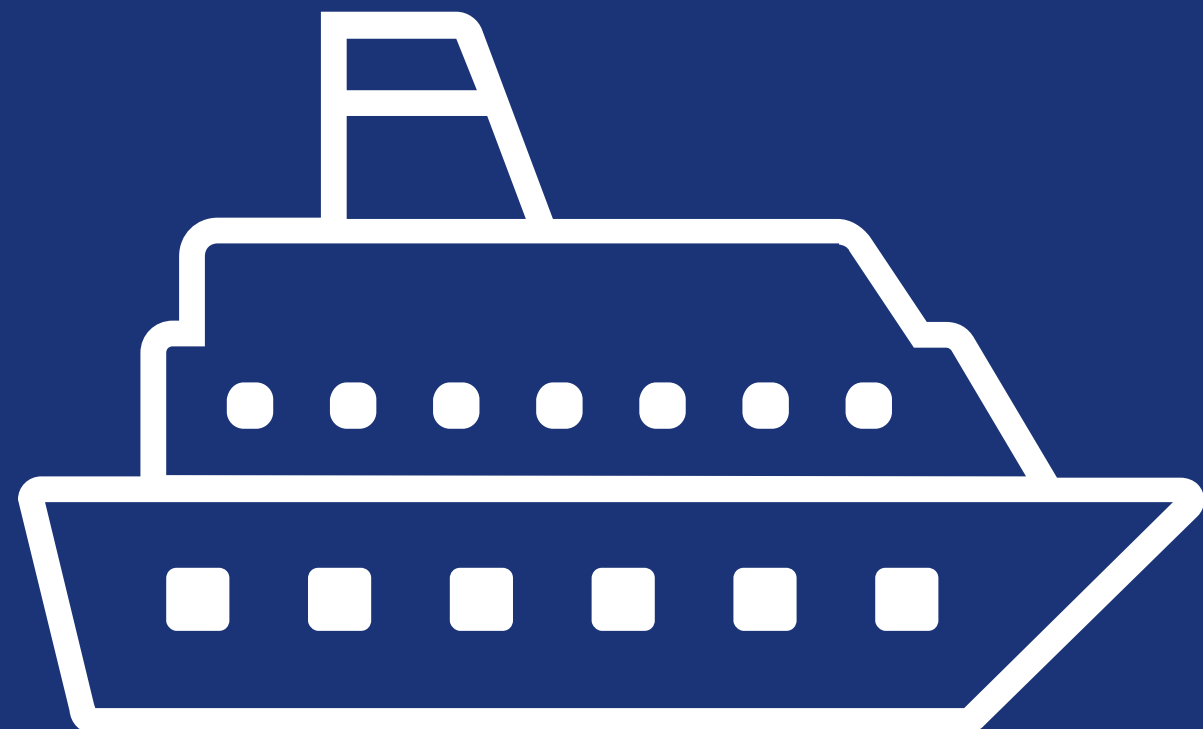
Q.2 会の入職理由や、仕事の面白いところ、記憶に残っている出来事など教えてください

前職でもバックオフィス業務を経験していましたが、大きな組織故に業務が細分化されていたので、もっと幅広い業務を経験してみたいという気持ちから入会しました。小さい組織なので困りごとやトラブルがあってもすぐに対応できる動きやすさがあるのもこの会の魅力だと思います。私の仕事で一番気を付けているのは、様々な人が働いているため、誰が読んでも誤解を招かないような文章を書くことです。先に起こるであろうことを想像しながら文章を書く必要があるのですが、完璧と思う文章であっても誰かひとりには伝わらなかったりするので、毎回勉強になるなと思って取り組んでいます。

4 採用情報



- ① こんな人と働きたい！
- ② 選考について



こんな人と働きたい！

- 当会の理念に共感し、公益性の高い業務に従事することを通じて地域貢献し、活躍することができる将来を担う若き人材を求めています。

安定感抜群の法人で安心して長く働くことが可能です。募集要項を確認の上、どうぞご応募ください。

選考について

選考フローは下記のとおりです。
(選考状況によっては選考ステップが変更となる場合があります)

1. 書類選考
2. 1次グループ面接
3. 最終役員面接
4. 内定

ご応募お待ちしております!

